

平成22年度 2月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

2月に入ると学生さんからの問い合わせが多くなってきた。特にNPO/NGOへの興味が高まっているようで、自分たちで国際協力のイベントを企画したいという相談が何件もあった。大学でも、それぞれのゼミで国際協力に関わるスタディツアーを実施しているため、自分たちでもやりたいという気持ちが高まっているようだ。自らNGOを立ち上げようという思いと、まず活動しようという意識の高い若者が増えているのは好ましいことだ。また、社会情勢から相談内容の傾向が変わることから、NGO相談員としても、様々な状況を知った上で対応する必要性を改めて感じるものだった。クチコミも含めて、NGO相談を知る人も多くなってきているので、更なる広報のため、イベントなどを通じて周知してゆきたいと思う今月の相談業務だった。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	ニュージーランドの情報について	
相談内容	2月の地震があったが、ニュージーランドの情報を教えて欲しい(学生)	
対応内容	ニュージーランドについては、オセアニア交流センター、大使館、観光局などについて話をした。また、今回の地震で防災にも関心を持っているようなので、災害時に対応しているNGOについても話をすることによって、関心を持ってもらうことができた。また、こうした学生からの関心をもっと広がるように情報提供をした。	
特筆した理由	①相談内容の裏にもうひとつの関心があるというケースだったため ②社会の動きからNGOへ関心が高まるケースがあると思われたため	

2	フェアトレードのイベント企画	
相談内容	札幌の学生連携でフェアトレードのイベントを企画したい	
対応内容	札幌でフェアトレードに関わっている団体を紹介した。また、シャプラニールやICANなど国際協力の視点で手工芸品などを販売している団体についても説明をした。当団体としても北海全域で、フェアトレード団体とのつながりがあるため、様々な情報について提供した。	
特筆した理由	①単体ではなく、学生が連携してイベントを企画しようというのが特徴的なため ②依然としてフェアトレードについての関心が高いように感じられたため	

3	NPO法人をつくりたい	
相談内容	途上国の子どもたちを支援する団体で活動をしているが、法人格としてNPO法人を取得したいがどのようにしたら良いか	
対応内容	NPO法人格をつくるには、北海道NPOサポートセンターや専門に相談にのってくれるところがあるため、具体的な部分については相談するように促した。ただ、NGOの活動のミッションの確認や、同じように途上国の子どもを支援する他の団体の事例を紹介することにより、スムーズに団体活動ができるようにアドバイスをした。	
特筆した理由	①NGO活動への関心が幅広い年代で増えているため ②思いの強さから始まっている団体が多いため、方向性を考える必要を感じたため	